



対人援助学マガジン読書会報告

対人援助学マガジン読書会（第1回）実施報告

2021年4月23日、初めての試みとして、「対人援助学マガジン読書会」をオンライン（Zoom ミーティング）で開催しました。

マガジンの連載の中から、指定図書のひとつ定め、参加者には読書会までに指定図書の最新号（加えて、可能な範囲でバックナンバーも）を読んできてもらい、当日それぞれの感想を持ち寄り、意見交換を行いました。

初回の指定図書は、杉江太郎氏の「余地 ―相談業務を楽しむ方法―」で、編集部を含め9名の読者と、執筆者の杉江さんをご参加くださいました。遠くは北海道やフランスからの参加者もあり、このメンバーが集まったのはオンラインならではのことだなと感じました。マガジンを読んでも、その感想を共有する機会は少ないのですが、読書会では各々の視点から思い思いの感想や意見が出て、執筆者への質問もあってと、2時間いっぱい、活発な意見交換の場を持つことができました。引き続き、第2回も開催予定です。詳しくは次頁を参照ください。

今後に向けて

オンライン機能を使えば、さらに様々な企画が可能であるようにも考えています。執筆者へのインタビューや対談、トークライブなどもできそうです。編集部でも随時企画し、ご案内していこうと考えていますが、読者からのご要望についてもぜひお聞きできればと思っていますので、ぜひご意見をお寄せください（メール：takashi_otani7929@yahoo.co.jp まで）。

開催情報などは、Facebook や Twitter などの SNS も活用して発信していく予定です。

◆マガジン公式 Facebook

<https://www.facebook.com/taijinenjyogakumagazine>

◆マガジン公式 Twitter

<https://twitter.com/taimagahenshubu>

◆第2回読書会のご案内◆

対人援助学マガジン第2回読書会を下記の要領にて開催いたします。

読書会では、指定図書を事前に読んだ参加者が集まり、読書を通して得た気づきや感想、意見を共有することで、より深く、より広く、マガジンを楽しむことができると考えています。

期日：2021年7月23日（金） 21時から23時

定員：10名程度（先着順）

指定図書：「心理コーディネーターになるために」（最新45号3回連載中）

※可能な範囲でバックナンバーおよび前の連載も読んでみてください。

執筆者：山下桂永子氏

執筆者紹介：（執筆者短信等から抜粋）



市の教育委員会での教育相談をはじめ、フリースクールのスタッフやスクールカウンセラー、保健所・クリニック・産業分野での業務、看護学校のピンポイント講師など、多方面で心理専門職として活動。

個人的な活動として、町家合宿を10年以上継続している。（「町家合宿 in 京都」を参照。マガジン27号から41号まで14回連載）

申込方法：メール（takashi_otani7929@yahoo.co.jp まで）にて、参加希望をお知らせください。件名を「読書会参加希望」として頂けるとわかりやすく助かります。

開催期日が近づきましたら、Zoom ミーティングに参加するための情報をお送りいたします。

編集部：大谷多加志